

第 135 期

株主のみなさまへ

平成29年 4 月 1 日から
平成30年 3 月31日まで



ISO9001 認証
JQA-1050



ISO14001 認証
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四條町12番8号

株式会社 ロブテックス



● 日常の生活に根ざした工具の文化を育てたい

欧米ではクリスマスや誕生日に、
父親や彼氏に工具セットを贈る習慣があります。
モノづくり大国“日本”にも
そういった文化を根づかせたい。

展示会出展



DIY HOMECENTER SHOW 東京オートサロン

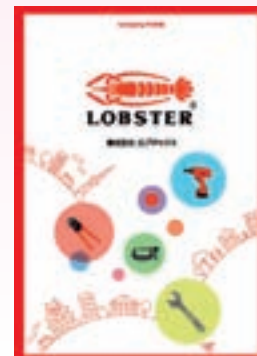


地元小中学校見学会

- ・東大阪市立縄手中学校
- ・東大阪市立上四条小学校



会社案内 パンフレット作成



その他

- ・ギフトショー
- ・名古屋オートトレンド
- ・大阪タカシマヤ展示

ご紹介します。

●より良い商品をお届けしたい

135期下期
新商品・
企画商品

工具セット(チェストタイプ)
EBI245・EBI359

エビ印の工具セットに
チェストタイプが新登場！
これさえあれば、あらゆる作業に対応
細部に渡るこだわりの品質！



ホームセンター向け企画商品

パラコード



同軸ケーブルストリッパー DS-5

F型コネクタ(接栓)の加工に最適！
調整不要！2枚刃で簡単に
早くきれいに仕上がる！



●ブランドの認知度を上げる

NASCARドライバー古賀琢麻選手のサポート

NASCARドライバーの
古賀琢麻選手とスポン
サー契約を結び、その活
動を応援しております。



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃から温かいご支援をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第135期の事業報告をお届けいたしますので、ご高覧たまりますようお願い申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向で推移し、緩やかな回復基調を維持しておりますものの、労働力不足による生産・物流コストの上昇や米国の政策動向や新興国経済の減速懸念などによる海外の政治経済の不確実性もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは経営スローガンである「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」を徹底させ、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、具体的な目標を定め確実に行動し、成果を獲得する、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、2017年5月に電子取引市場への対応やインターネットを活用した情報提供及び商品PRの強化などの売上拡大を目指した施策を行う「営業推進部」を新設し、「営業部」及び昨年度に設置した「営業企画部」との連携を図り、組織的な営業活動の更なる強化を進めております。加えて、ロブスターブランドの根幹である品質の維持・向上を強力に推し進めるべく、品質保証部門を独立させ、商品戦略に基づいた商品企画をより早く商品化するため、商品企画部門と商品設計部門の統合を行いました。そして、生産部門においては、効率化や安定的な生産活動、多様なニーズへの対応を目的とした外注加工工程に関する内製化設備導入等を計画的に推し進めました。

その結果、売上高は前年同期比6.9%増の61億6千2百万円（前年同期57億6千2百万円）となりました。利益面においては、増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、営業利益で10.2%増の5億6千万円（同5億8百万円）、経常利益で8.9%増の4億9千7百万円（同4億5千6百万円）となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益では前年同期の子会社清算による税負担軽減影響がなくなり、11.6%減の3億1千万円（同3億5千1百万円）となりました。

事業別の業績は次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、過多であった流通在庫の正常化に向けて拡販努力を行ったモンキレンチや新商品を投入したプライヤ類が好調な推移を見せ、また、新企画商品の継続的な企画販売もあって増加しました。ファスニング部門では、エアリベッター、エアナッター、工業用ファスナーなどが堅調な販売であったことに加え、超小型オートリベットフィーダーや住宅関連向けのファスニングツールが伸長し増加しました。切削工具部門については拡販努力をしておりますものの、価格競争の厳しさは継続しており、減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では韓国向けに拡販施策の奏功したモンキレンチやプライヤ類、拡販努力と同国の一部業界の景況回復とが相まった電設工具の好調な販売により増加しました。ファスニング部門では前半に好調に推移した米州向けのエアリベッター等のファスニングツール類が後半には停滞気味となり、その他の地域においても流通在庫の過多状況継続により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比7.3%増

の59億4千3百万円（前年同期55億3千9百万円）となりました。利益面ではセグメント利益が増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、前年同期比15.5%増の4億7千2百万円（同4億9百万円）となりました。

<レジャー事業>

ゴルフ練習場における入場者数は固定客増加施策効果に加え、2017年9月に実施した打席棟のリニューアル効果もあって増加し、お客様一人当たり売上高については低下傾向が継続していましたが、前年度後半からは下げ止まった状況を維持しています。しかしながら、リニューアルに伴い導入した顧客管理のICカード化による売上高計上時期の変更影響を受け、現金収入は増加しているものの、売上高は前年同期比1.6%減の2億1千9百万円（前年同期2億2千2百万円）となり、セグメント利益はリニューアル工事費用の発生もあって、同11.6%減の8千7百万円（同9千8百万円）となりました。

今後の経済情勢は企業収益や雇用・所得環境の改善による景気回復傾向の継続が期待されますが、労働力不足による生産・物流コスト上昇傾向の強まりや海外経済動向の不確実性など景気先行きへの懸念事項も多く、予断を許さない状況となっています。

このような見通しの中、当社グループは経営スローガンを「目標達成への執念、計画的考定の徹底、知的好奇心の追求」と定め、経営目標達成に向け、全社員一人一人がなんとしても目標を達成しようとする熱意を持ち、過去にとらわれず、時代や環境の変化に応じたやるべきことを考え且つ実行し、自己研鑽を惜しまない姿勢を醸成してまいり、真の実力を持った企業グループとなるべく努力してまいります。

なお、2018年5月により機能的な組織体制とすべく、開発部を機能別に商品企画、技術開発、購買部門に分割し、営業推進部にお客様情報の集約を目的として受注やアフターサービス部門を統合し、営業部門に取引先別販売チャネルへの適合を目的に機工営業、HC営業、法人営業部門を設置しました。また、2018年度においても金属製品事業では将来を見据えた新規生産設備等を、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めております。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で62億2千万円、連結営業利益で4億2千万円、連結経常利益で3億6千万円、親会社株主に帰属する当期純利益で2億3千万円を見込んでおります。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成30年6月

取締役社長

地引俊為



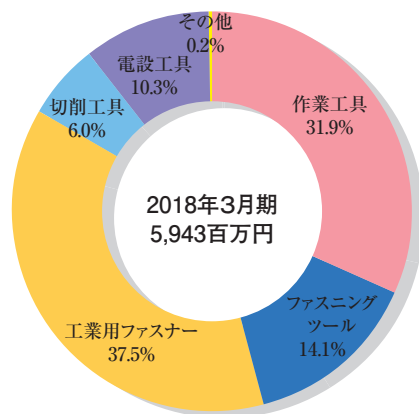
連結業績の推移

● 営業成績

区 分	第131期 (2014年3月期)	第132期 (2015年3月期)	第133期 (2016年3月期)	第134期 (2017年3月期)	第135期 (2018年3月期)
売上高 (百万円)	5,581 (2,665)	5,572 (2,671)	5,910 (2,828)	5,762 (2,780)	6,162 (3,038)
経常利益 (百万円)	499 (211)	511 (209)	449 (223)	456 (192)	497 (259)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	290 (113)	306 (125)	275 (137)	351 (122)	310 (165)
1株当たり 当期純利益 (円)	308.98 (120.10)	325.92 (133.62)	293.19 (146.08)	374.56 (130.56)	332.13 (177.05)

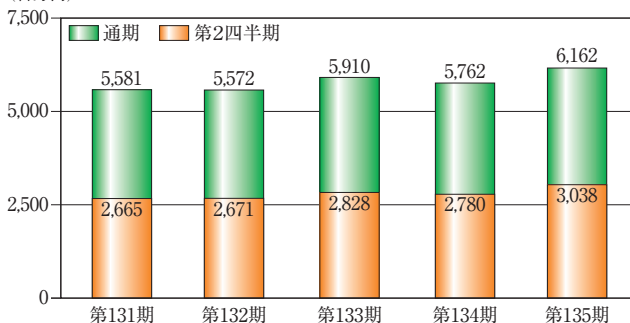
(注) () は第2四半期の数値であります。

● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



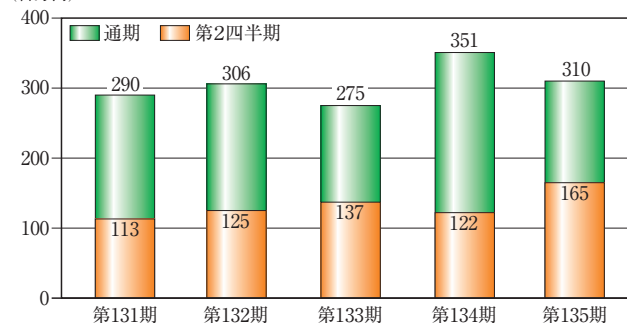
● 売上高

(百万円)



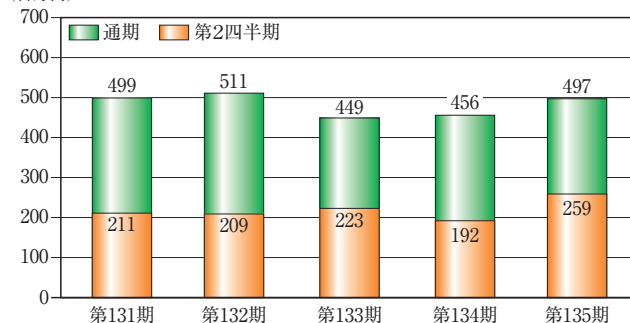
● 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



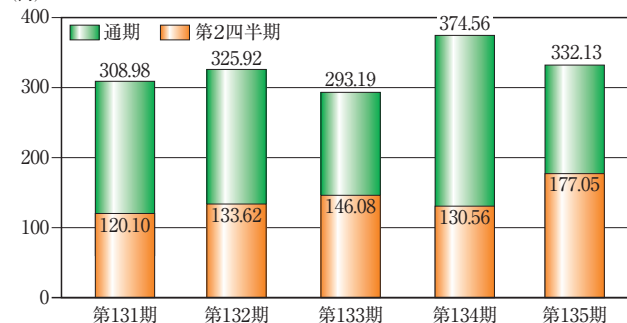
● 経常利益

(百万円)



● 1株当たり当期純利益

(円)



(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。第131期の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,367,133	流動負債	2,606,223
現金及び預金	2,206,786	買掛金	280,621
受取手形及び売掛金	1,341,170	短期借入金	1,544,152
電子記録債権	145,413	1年内償還予定の社債	60,000
商品及び製品	986,084	リース債務	121,578
仕掛品	309,998	未払法人税等	138,843
原材料及び貯蔵品	190,257	その他	461,027
繰延税金資産	133,033	固定負債	1,396,784
その他	59,852	社債	210,000
貸倒引当金	△ 5,462	長期借入金	847,914
固定資産	2,652,293	リース債務	212,753
有形固定資産	1,987,876	繰延税金負債	62,533
建物及び構築物	794,055	退職給付に係る負債	62,803
機械装置及び運搬具	61,343	その他	780
工具、器具及び備品	57,241	負債合計	4,003,008
土地	738,508	(純資産の部)	
リース資産	333,919	株主資本	3,621,444
建設仮勘定	2,808	資本金	960,000
無形固定資産	36,079	資本剰余金	491,045
リース資産	14,381	利益剰余金	2,334,358
その他	21,698	自己株式	△ 163,959
投資その他の資産	628,337	その他の包括利益累計額	211,350
投資有価証券	531,578	その他有価証券評価差額金	211,350
退職給付に係る資産	51,591	非支配株主持分	183,623
繰延税金資産	18,734	純資産合計	4,016,418
その他	33,646	負債・純資産合計	8,019,426
貸倒引当金	△ 7,214		
資産合計	8,019,426		

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結損益計算書

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		6,162,935
売上原価		3,943,672
売上総利益		2,219,262
販売費及び一般管理費		1,658,995
営業利益		560,267
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,168	
受取家賃	8,282	
その他	5,488	26,939
営業外費用		
支払利息	34,763	
売上割引	45,797	
その他	9,599	90,160
経常利益		497,046
税金等調整前当期純利益		497,046
法人税、住民税及び事業税	169,718	
法人税等調整額	△ 8,025	161,692
当期純利益		335,354
非支配株主に帰属する当期純利益		24,702
親会社株主に帰属する当期純利益		310,651

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

会社の概要

平成30年6月21日現在

設立 大正12年8月12日
資本金 9億6千万円
発行済株式総数 1,000,000株
本店所在地 東大阪市四条町12番8号
従業員数 109名(連結192名)
(平成30年3月31日現在)
製造販売品目 作業工具
ファスニングツール
電設工具
切削工具
工業用ファスナー

● 役員

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
取締役	豊島尚規
取締役	山口正光
取締役 (常勤監査等委員)	林邦男
取締役 (監査等委員)	藤本昇
取締役 (監査等委員)	遠藤美智子

事業所

本社／東大阪市四条町12番8号(〒579-8053)
☎072-980-1110(代)

大阪営業所／東大阪市四条町12番8号(〒579-8053)
☎072-980-1111(代)

東京営業所／東京都板橋区高島平2丁目6番4号(〒175-0082)
☎03-3550-3671(代)

名古屋営業所／名古屋市中区八竜町1丁目40番地(〒462-0805)
☎052-915-0431(代)

福岡営業所／福岡市博多区山王1丁目7番9号(〒812-0015)
☎092-431-0395(代)

子会社

会社名	株式会社ロブテックス ファスニングシステム	鳥取ロブスターツール 株式会社	株式会社ロブエース
設立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日
資本金	1,000万円	20,000万円	5,000万円
出資比率	65%	100%	100%
住所	東京都中央区日本橋 堀留町1-5-11 堀留Dビル5階	鳥取県西伯郡大山町 高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町 6丁目1番地
事業内容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場
代表取締役	地引俊為 川邊裕一	地引俊為	地引俊為

株 主 メ モ

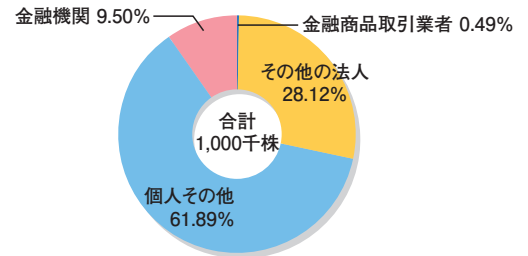
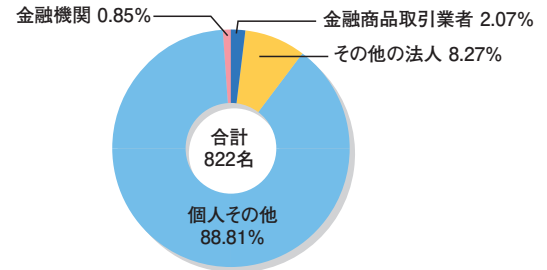
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/ (ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株式の状況（平成30年3月31日現在）

発行可能株式総数	4,000千株
発行済株式総数	1,000千株
株主総数	822名
所有者別株主構成比	



エビ印工具

